

概要版

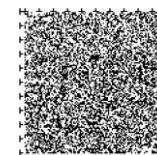
# 第2期 八王子市国民健康保険 データ活用保健事業実施計画

令和6～11年度（2024～2029年度）

令和6年（2024年）3月

八王子市

これは音声コードです。ユニボイスのアプリや読み上げ装置を使用すると音声で内容を聞くことができます。  
※読み上げ装置やアプリのバージョンによっては正確な読み上げができない場合がございます。ご了承ください。

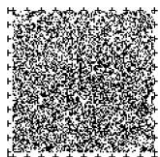
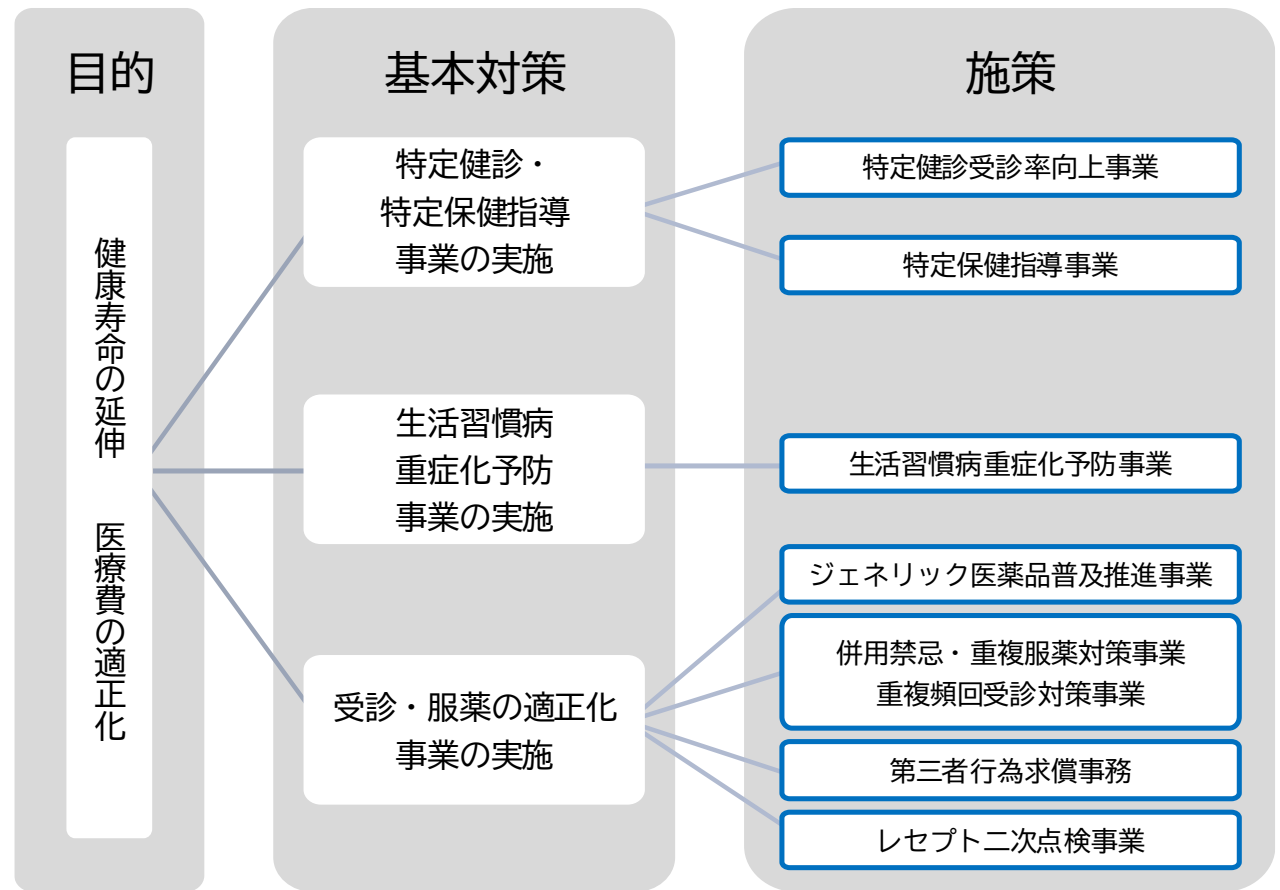


# 本計画の背景と目的

本市では、平成20年(2008年)3月に「八王子市国民健康保険特定健康診査等実施計画」を、平成25年(2013年)3月には「第2期八王子市国民健康保険特定健康診査等実施計画」を策定し、健診受診率や保健指導実施率の向上の取り組みを実施しました。さらに、平成30年(2018年)3月には、「第3期特定健康診査等実施計画」を包含した形で、「八王子市国民健康保険データ活用保健事業実施計画」を策定しました。令和3年度(2021年度)からの中間改定を受け、今回が第2期の作成となります。

本計画では、「健康寿命の延伸」と「医療費の適正化」を目的に設定し、PDCAサイクルに基づき効果的・効率的に保健事業を展開しています。

本計画の目的と保健事業の概念図

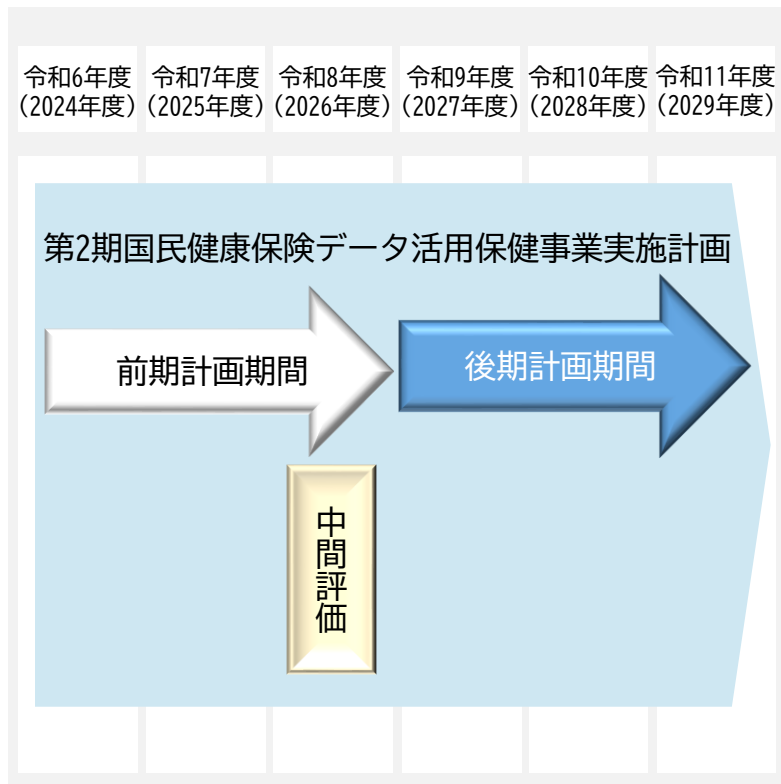


# 計画期間と本計画の位置づけ

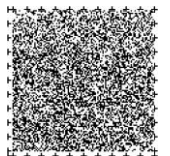
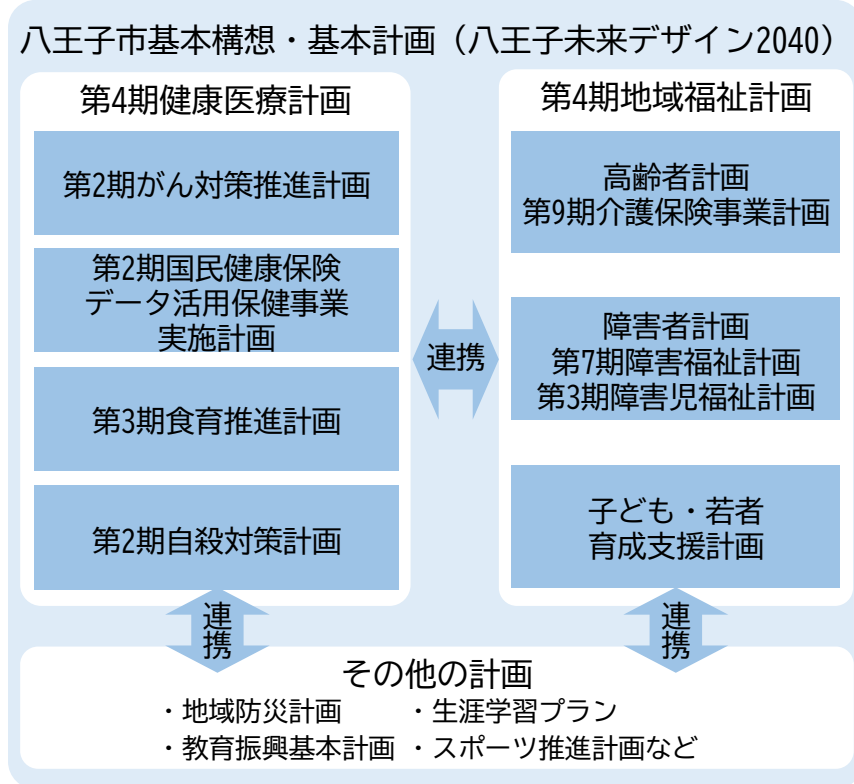
国民健康保険法に基づく保健事業実施指針第五の五「特定健康診査等実施計画や健康増進計画との整合性も踏まえ、複数年とすること」をもとに、計画期間を令和6年度(2024年度)から令和11年度(2029年度)までの6年間としています。さらに計画期間を前期3年と後期3年に区分しました。令和8年度(2026年度)をもって、本計画の前期終了となることから、中間評価に基づく計画の見直しを行います。

本計画は、八王子市の基本計画である「八王子市基本構想・基本計画（八王子未来デザイン2040）」、また、「第4期八王子市健康医療計画」を上位計画とし、関係する計画とも連携を図っています。

## 計画期間



## 本計画の位置づけ

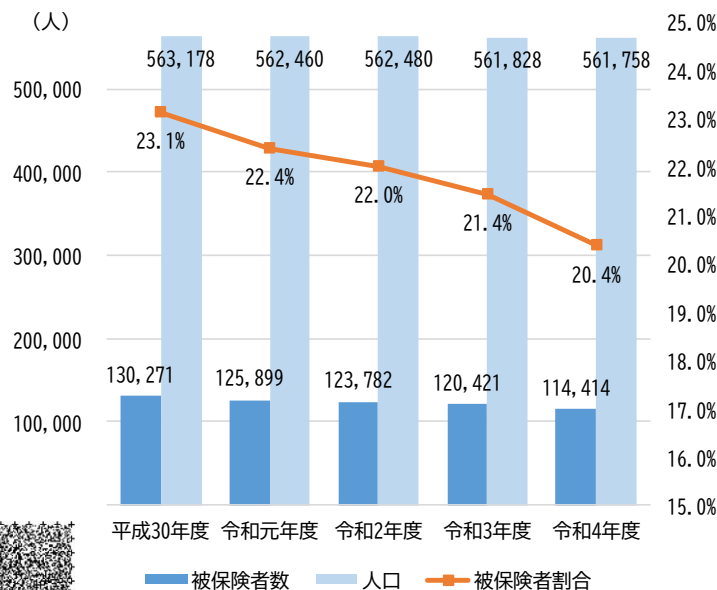


# データから見る本市の現状と課題

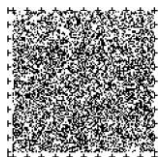
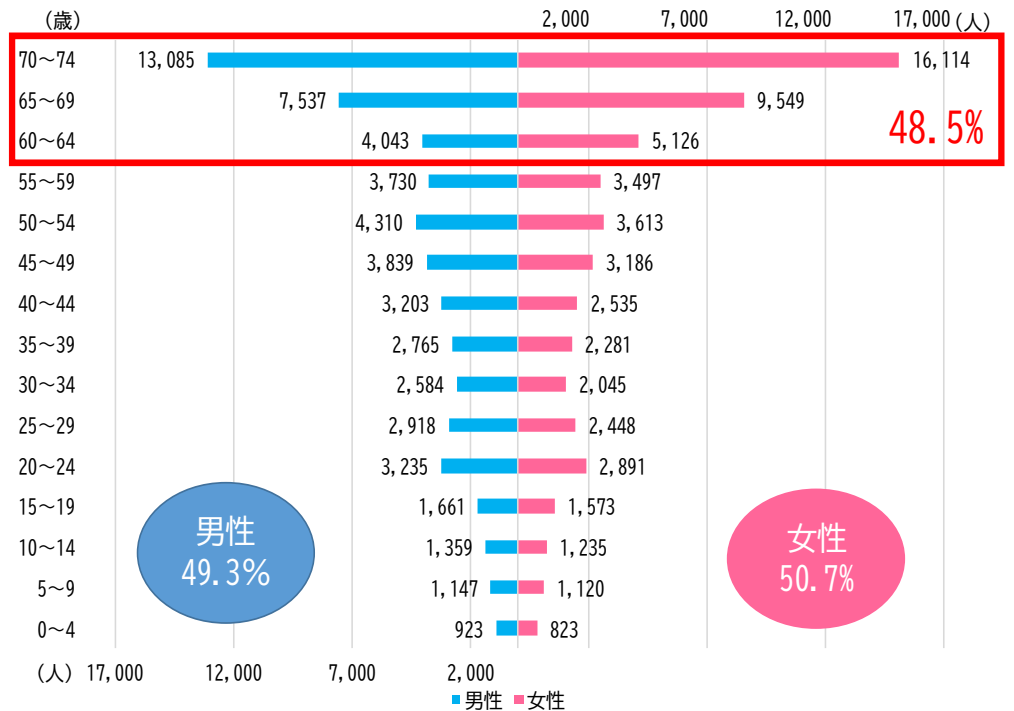
## 1. 被保険者の概要 ～ 被保険者数の推移と年齢構成

被保険者数は年々減少傾向にあります。被保険者構成については、社会保険等の被保険者が退職とともに国保に加入することから、60歳以上の割合が高く、全被保険者の48.5%が60歳以上となっています。また、男女比率は女性の割合が若干高い状態です。

### 被保険者数の推移



### 被保険者の構成(男女・年代別)(令和4年度)



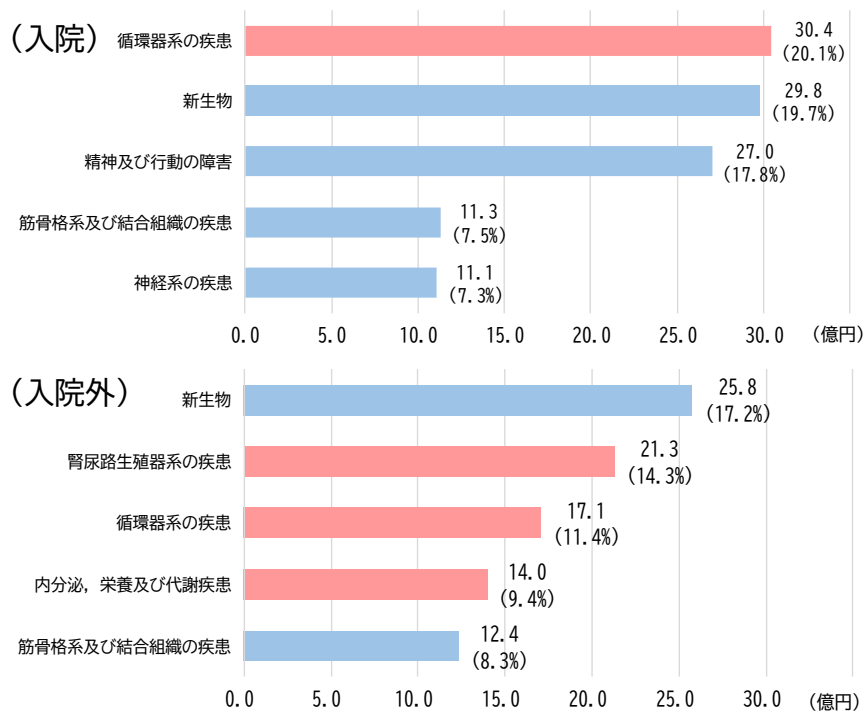
国民健康保険事業概要(令和4年度)

## 2. 医療費の概況 ～ 総医療費上位5疾患、被保険者一人あたりの医療費

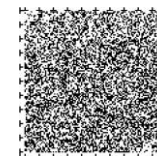
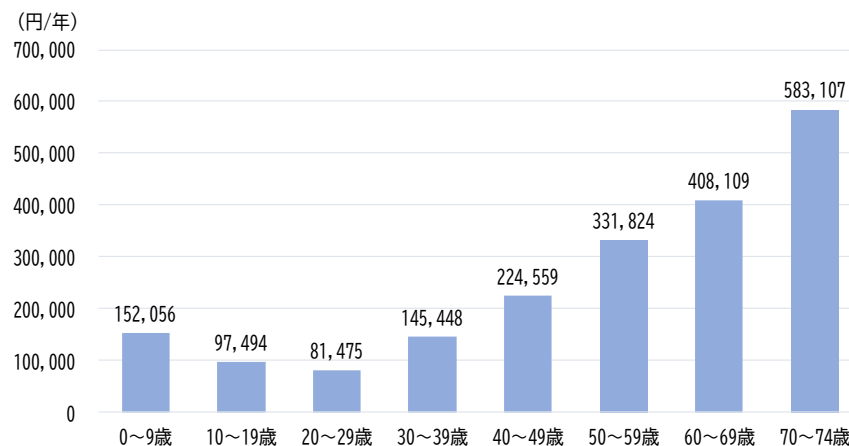
医療費の上位5疾患について、入院では、循環器系の疾患(心筋梗塞等の虚血性心疾患等)が第1位となっています。また、入院外では、定期的な受診が必要である腎尿路生殖器系の疾患(腎不全等)や循環器系(高血圧等)、内分泌疾患(糖尿病等)が上位にあります。

被保険者一人あたりの医療費については、年代が上がるごとに増加しており、50代と70代を比較すると、約1.8倍となっています。一人あたりの医療費の増加は高齢化の影響を受けていることが分かります。

### 医療費上位5疾患(入院・入院外別)(令和4年度)



### 被保険者一人あたりの医療費(年代別)(令和4年度)

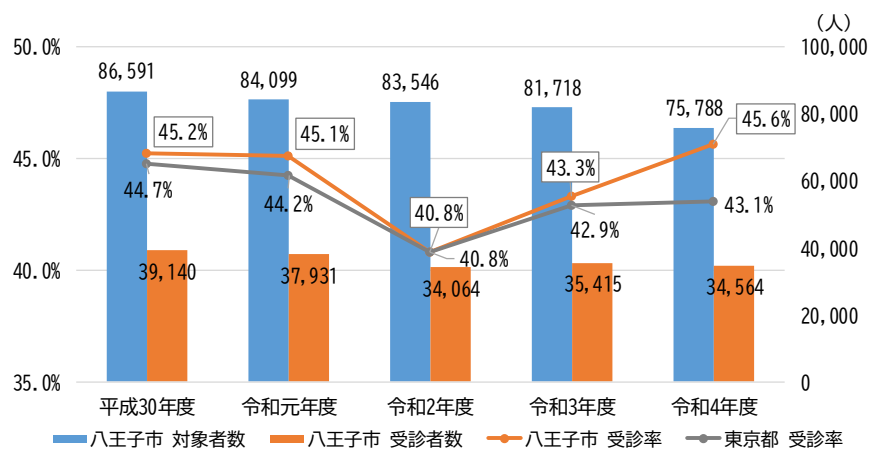


### 3. 特定健康診査の概況 ～ 特定健診受診率推移、地区別の健診受診者割合

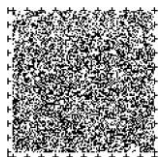
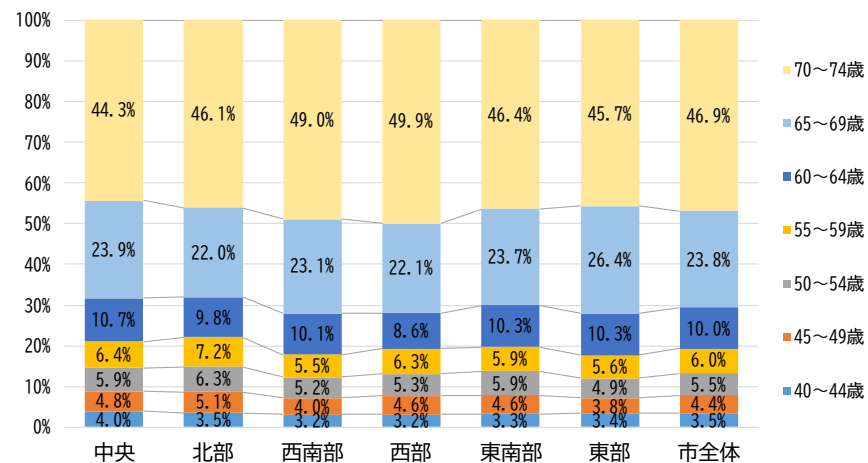
特定健診受診率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた令和2年度(2020年度)に40.8%まで落ち込みましたが、令和4年度(2022年度)は、令和元年度(2019年度)を上回る45.6%となりました。

特定健診受診者の割合は、どの地区も60歳以上の受診者が約70%を占めています。特に西南部と西部は70歳代が49%以上と高くなっています。

特定健診受診率推移



地区別の健診受診者割合(年齢階級別)(令和4年度)



法定報告値

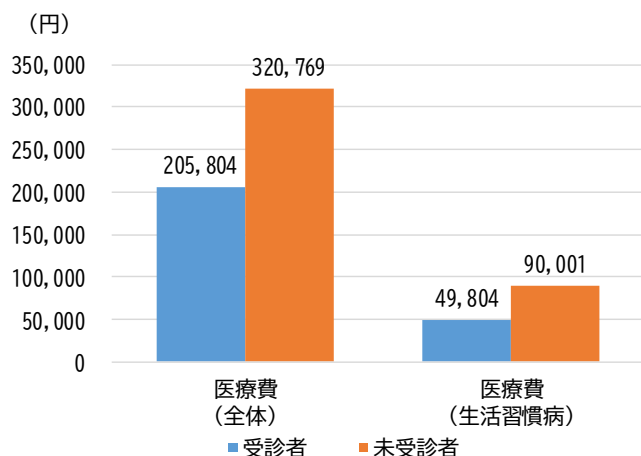
特定健診データ/加入者データ/地域割データ

### 3. 特定健康診査の概況 ～ 特定健診受診・未受診者別生活習慣病受診者状況

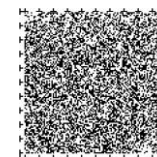
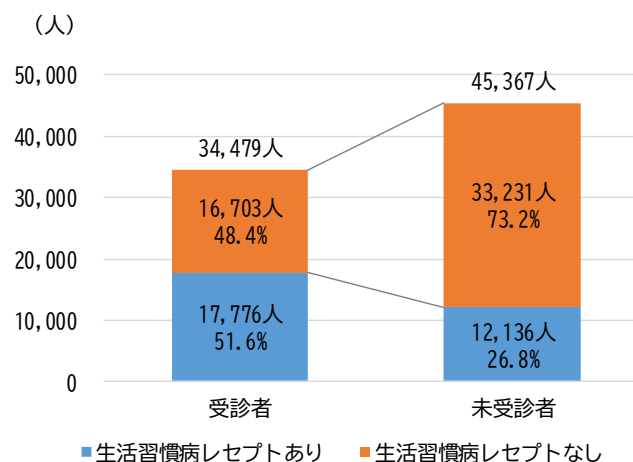
特定健診受診者と未受診者の一人あたりの医療費は、全体の医療費と生活習慣病に関する医療費のどちらも特定健診未受診者の方が高くなっています。

特定健診の未受診者は、受診者の半数程度しか生活習慣病の受診をしていません。健診を受けないと自身の身体の状態を確認する機会がないと考えられ、生活習慣病の定期受診がない人こそ、健診受診の必要性が高いといえます。

特定健診受診・未受診者別一人あたりの医療費状況  
(令和4年度)



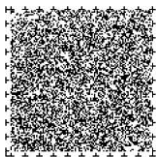
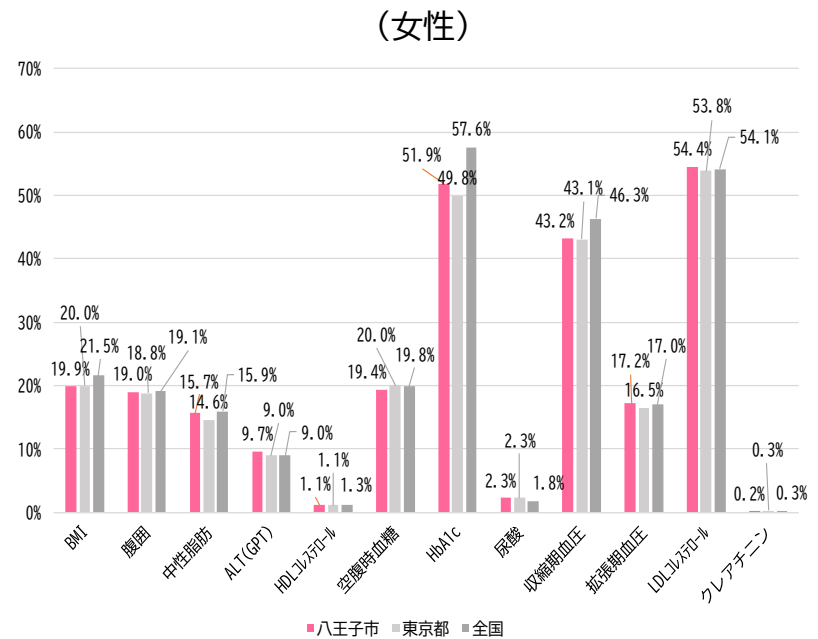
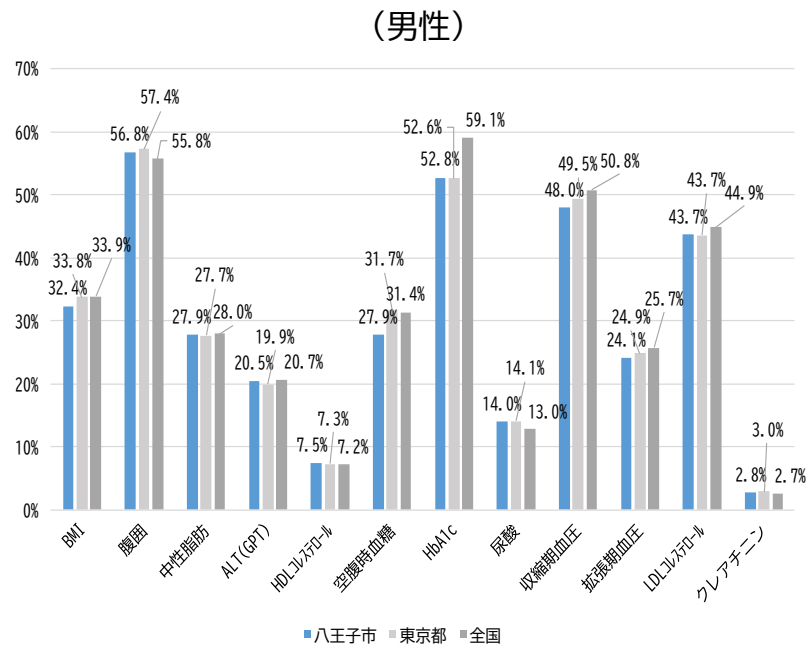
特定健診受診・未受診者別の生活習慣病受診状況  
(令和4年度)



## 4. 健診結果の状況 ～ 健診有所見者状況

特定健診の有所見者割合の検査項目別では、全国と比べてHbA1c有所見割合は低い結果となっています。他の項目に大きな違いは見受けられません。

### 健診有所見者状況(男女別)(令和4年度)



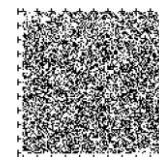
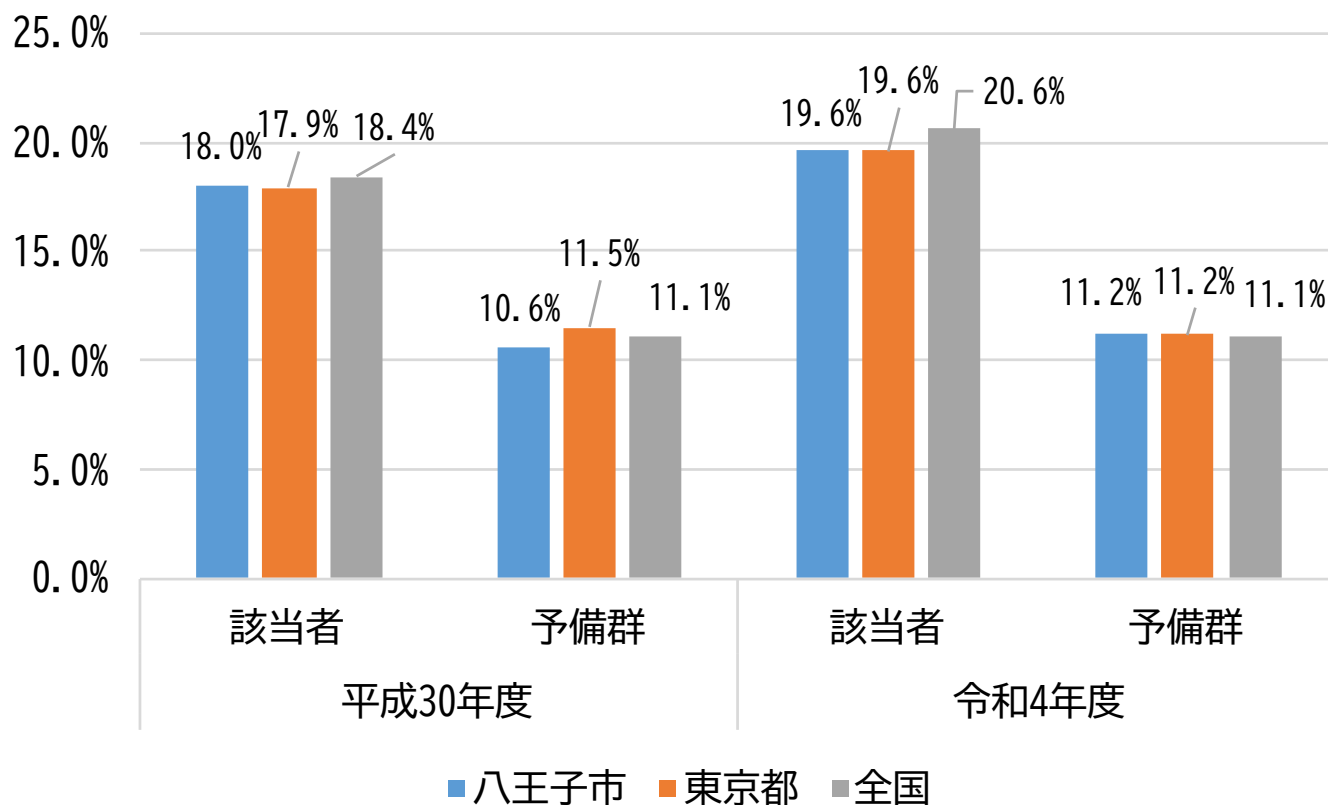
KDBデータ(全国受診者数(男女別)を基準人口とした直接法による年齢調整済み)



## 4. 健診結果の状況 ～ メタボリックシンドローム該当者の状況

特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者もしくは予備群と判定された割合は、全国的に新型コロナウイルス感染拡大以降、肥満者が増加傾向となっており、該当者、予備群ともに平成30年度(2018年度)と令和4年度(2022年度)を比較すると微増しています。

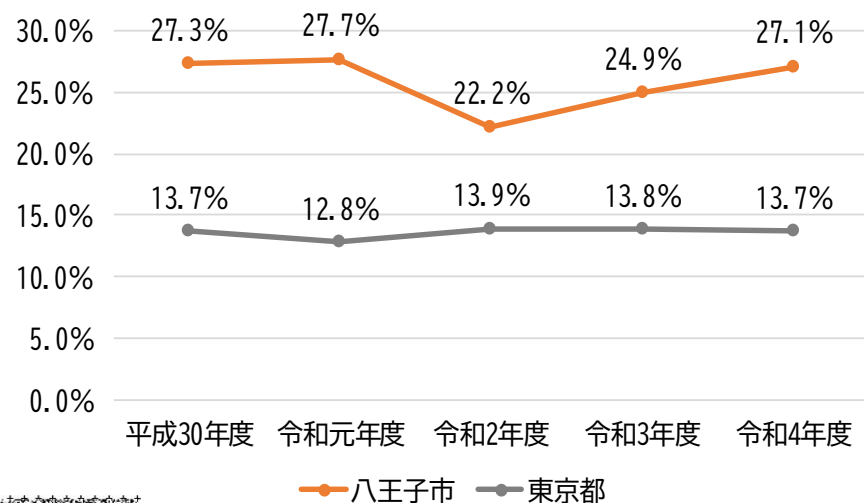
メタボリックシンドローム該当者の状況



## 5. 特定保健指導の概況 ～ 特定保健指導実施率、特定保健指導対象者の減少率

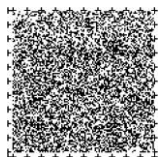
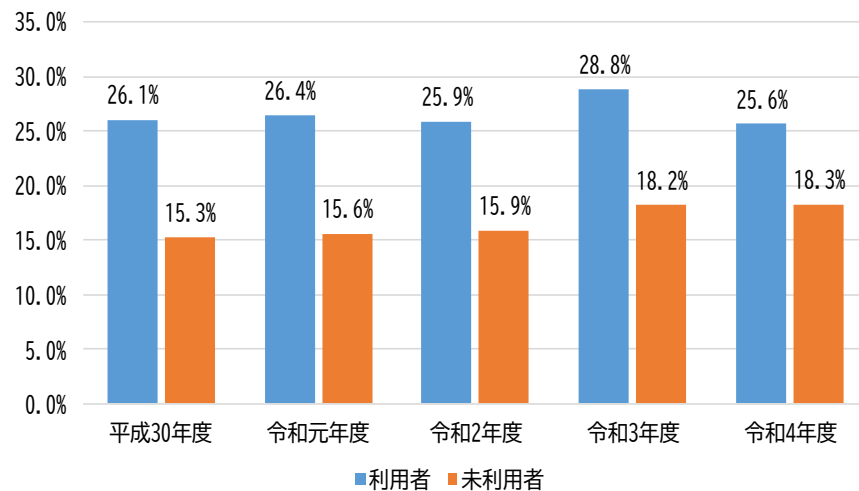
特定保健指導実施率は、令和2年度(2020年度)に22.2%と前年度より低下しましたが、令和4年度(2022年度)は27.1%と高くなっています。また、東京都と比較すると高い水準となっています。

特定保健指導実施率



前年度の特定保健指導対象者が、翌年度に特定保健指導の対象ではなくなった割合(減少率)は、平成30年度(2018年度)から令和4年度(2022年度)にかけて、全ての年度で利用者が未利用者を上回っています。

特定保健指導対象者の減少率  
(特定保健指導利用者・未利用者別)

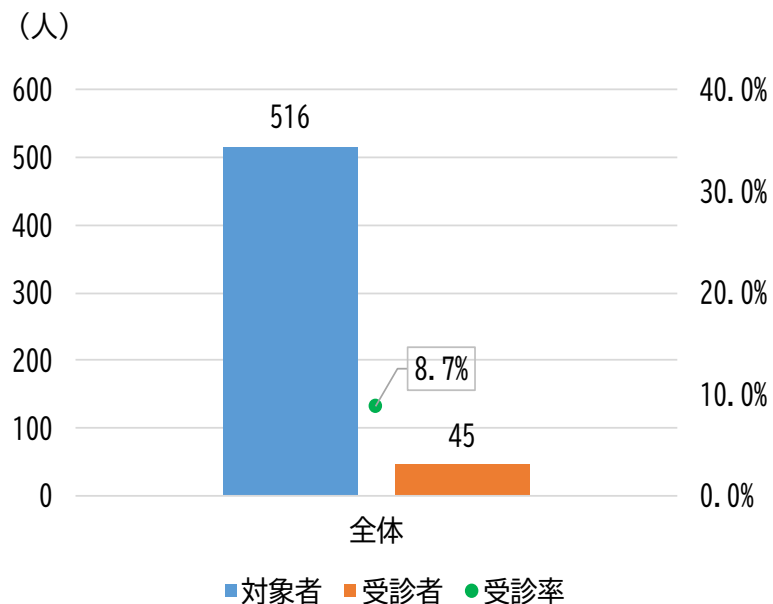


法定報告値

## 6. レセプトデータ等分析 ～ 高血圧症受診勧奨の効果測定

令和3年度(2021年度)の高血圧受診勧奨における受診勧奨後4か月の血圧受診率は、10%未満と低い結果となっています。

### 高血圧受診勧奨効果(令和3年度)

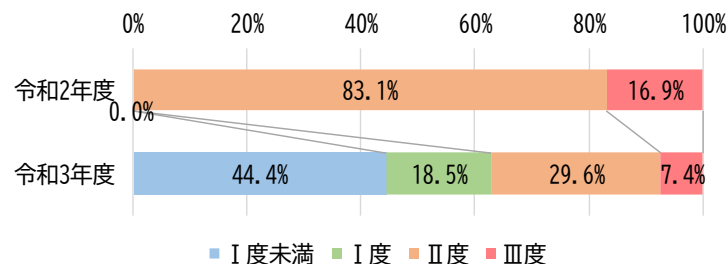


レセプトデータ、特定健診データ

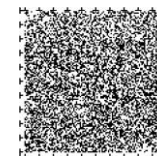
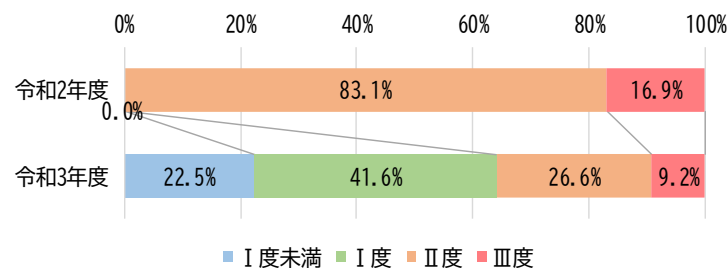
令和2年度(2020年度)の高血圧受診勧奨対象者は、受診の有無に関係なく全体的に翌年度の特定健診結果の数値がよくなっていますが、受診群の方が改善率が高く、受診勧奨の効果が見られます。

### 血圧分類の変化評価割合 (令和2年度健診→令和3年度健診)

#### (受診群)



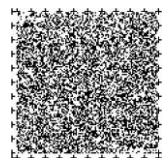
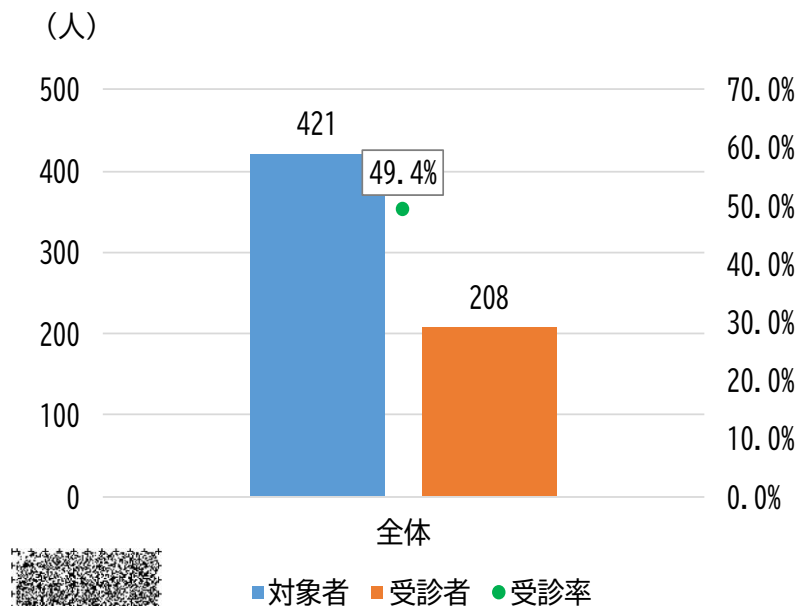
#### (未受診群)



## 6. レセプトデータ等分析 ～ 糖尿病受診勧奨の効果測定

令和3年度(2021年度)の糖尿病受診勧奨における受診勧奨後4か月の糖尿病受診率は約半数となっています。

### 糖尿病受診勧奨効果(令和3年度)

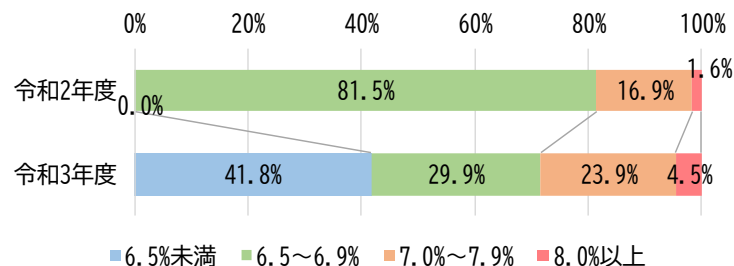


レセプトデータ、特定健診データ

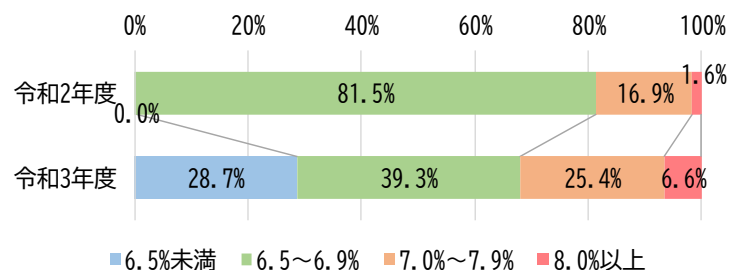
令和2年度(2020年度)の糖尿病受診勧奨対象者に対して、翌年の特定健診結果の変化からうかがえる効果は、受診群の方が6.5%未満になった方の割合が高く、受診勧奨の効果が見られます。

### HbA1c値の変化評価割合 (令和2年度健診→令和3年度健診)

#### (受診群)



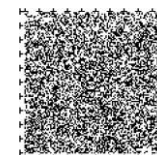
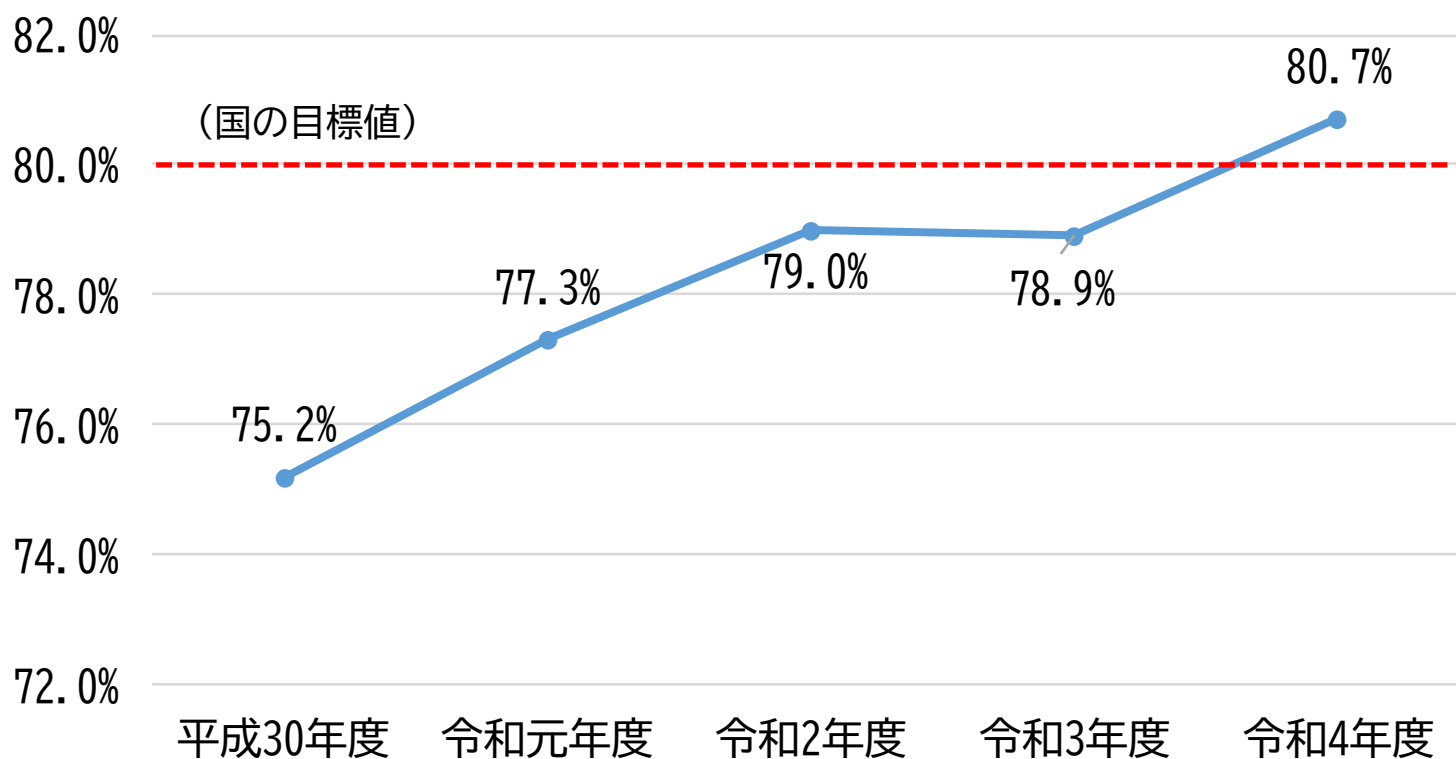
#### (未受診群)



## 7. 医療費の適正化について ～ ジェネリック医薬品使用率の推移

ジェネリック医薬品の使用割合は、国では「2023年度末までに80%以上」を目標としていますが、使用割合はおおむね増加傾向にあり、令和4年度(2022年度)には80.7%と目標値を超える水準となりました。

ジェネリック医薬品使用率の推移



# 保健事業計画

本市の現状を踏まえ、第2期計画期間に実施する保健事業と目標を達成するための主な戦略は以下のとおりです。

## 特定健診受診率向上事業

特定健康診査未受診者に対し、通知等の受診勧奨で、特定健康診査受診率向上を図る。

- 特定健康診査対象者への受診券個別発送を継続し、未受診者へ定期的に受診勧奨を行う。
- 更なる受診率向上を促すため、通知以外の受診勧奨手法も検討する。

## 特定保健指導事業

特定健診の結果を振り返り、生活について保健指導を実施する。

- 経年の検査結果等を踏まえた質の高い保健指導を行い、実施方法等の工夫で利用率向上も図る。

## 生活習慣病重症化予防事業

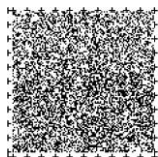
- ・ 受診判定値を超えた方、治療中断者へ医療機関受診勧奨を行う。
- ・ 糖尿病性腎症、CKD重症化予防指導を行う。

- 健診結果やレセプトデータ等を活用し、生活習慣病重症化のリスクが重なっている方に、重症度に合わせたアプローチを行う。

## ジェネリック医薬品普及推進事業

削減可能額と薬効で、対象者を抽出し、勧奨通知を発送すると共に、市広報等による周知も行う。

- 年代別、薬効別のジェネリック使用率などの分析を行い、分析結果を踏まえた対策を検討する。



### 併用禁忌・重複服薬対策事業 重複頻回受診対策事業

対象者に、適正な服薬、受診行動を促す通知を発送し、希望者には、薬剤師による訪問指導を行う。

- 対象者が服薬・受診状況を把握し、改善に向けて医療機関等に相談できる通知を作成する。
- 過年度の分析、対象者の現状分析から、効果的な実施へ向けた検討を行う。

### 第三者行為求償事務

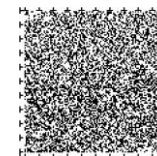
事故等の発生時、被害届等の未提出者、及び第三者行為の疑いがある被保険者に対し、手続きを促す通知を送付すると共に、事故等の相手方、保険会社に対し医療費求償を行う。

- 被害届未提出者に対する早期督促、関係機関との連携強化により、第三者行為の把握に努める。

### レセプト二次点検事業

レセプトの内容点検を行い、柔道整復利用者にアンケートを送付し、疑義がある場合、架電を実施する。  
柔道整復の施術内容についても、内容点検を行う。

- 東京都国民健康保険団体連合会の研修等で、知識・技術の習得を図る。
- 審査結果の分析、査定事例の共有により点検能力向上を図る。
- 患者、施術所照会を通じて情報収集し、不正請求が疑われる場合は都へ情報提供する。





概要版

第2期八王子市国民健康保険データ活用保健事業実施計画  
令和6～11年度(2024～2029年度)

発行日：令和6年(2024年)3月

発行：八王子市

編集：健康医療部 成人健診課・保険年金課

〒192-8501

東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号

TEL 042-620-7428 FAX 042-621-0279(成人健診課)

E-mail b660200@city.hachioji.tokyo.jp

URL <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

